

{ 11月に予定されているセンターのイベント情報や、
 其他のお知らせについてご案内します。 }

漫湖水鳥・湿地センターのキャラクター

愛称募集

漫湖水鳥・湿地センターはリニューアルにあわせて、より多くの方にセンターに親しんでいただくために、センターの活動を盛り上げるキャラクターを作りました。漫湖を代表するトントンミーとクロツラヘラサギにピッタリなステキな名前をみんなで考えてください。

応募締め切り：2013年12月20日（金）まで



漫湖水鳥・湿地センターは、
10周年を迎えました!!

クロツラヘラサギ
 なんでも分かりやすく説明してくれる、
 物知りなオンナの子。
 渡り鳥として旅をしているので、
 世界中の湿地についてくわしい。
 地球の変化を感じている。

**トントンミー
 (ミナミトビハゼ)**
 おっとりしていて、ひょうきん者の
 オトコの子。
 漫湖に長く住んでいるため、
 漫湖のことならなんでも知っている。

ぼくたちの名前を
 みんなで考えてね!!

詳しい応募内容はセンターホームページ
<http://www.manko-mizudori.net/>

Topic:

{ いきものファインダー
 漫湖の風景 22 }



干潟の職人ワザ、小さな砂団子。

10月、センターの改修工事に伴い、古くなった展示物も一新されることとなり、その素材集めの為、干潟にカニの写真を撮りに行った時のこと。

この日のお目当てはヒメシオマネキとミナミアシハラガニの食事シーンだった。そのため、いつも以上に視線を低くしてお目当てのカニをじっくり待っていると、ある光景が目に入ってきた。それは小さな丸い砂の粒が無数に広がった地面の表情だった。この眺めは、ミナミコメツキガニのアノ砂団子の光景とよく似ている。しかし漫湖でミナミコメツキガニは見られない。では、一体誰の仕業なのであろうか？その正体はすぐに判明した。オキナワハクセンシオマネキだ。彼らもミナミコメツキガニと同じ砂団子職人だったのだ。これでまた一つ、漫湖の楽しみ方が増えた。

■ 2013.10/1 — 2013.10/31 { 漫湖で確認された野鳥 …………… 計 46 種 }

漫湖寄鳥見鳥

10/30



漫湖で確認された鳥類一覧

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. キジバト | 26. サシバ |
| 2. ズアカアオバト | 27. カワセミ |
| 3. ヨシゴイ | 28. ハヤブサ |
| 4. ササゴイ | 29. サンショウクイ |
| 5. アマサギ | 30. サンコウチョウ |
| 6. アオサギ | 31. シジュウカラ |
| 7. ダイサギ | 32. ツバメ |
| 8. チュウサギ | 33. リュウキュウツバメ |
| 9. コサギ | 34. シロガシラ |
| 10. オオバン | 35. ヒヨドリ |
| 11. ムナグロ | 36. メジロ |
| 12. ダイゼン | 37. ムクドリ |
| 13. コチドリ | 38. コムクドリ |
| 14. シロチドリ | 39. カラムクドリ |
| 15. チュウシャクシギ | 40. ホシムクドリ |
| 16. アカアシシギ | 41. イソヒヨドリ |
| 17. アオアシシギ | 42. エゾビタキ |
| 18. キアシシギ | 43. キセキレイ |
| 19. ソリハシシギ | 44. ハクセキレイ |
| 20. イソシギ | 45. カワラバト※ |
| 21. トウネン | 46. シマキンバラ※ |
| 22. ヒバリシギ | 47. |
| 23. ハマシギ | 48. |
| 24. ミサゴ | 49. |
| 25. ツミ | 50. ※は外来種 |

クロツラヘラサギが4羽!?

10月最後の週末、鳥見のお客様との何気ない会話。

「今日はどんな鳥が見られました?」

「今日は良かった、クロツラが4羽も見られました。」

「えっ、クロツラが4羽!？」

「はい。」

翌日もまた、別のお客様と…。

「今日はどんな鳥が見られました?」

「今日は良かった、クロツラが5羽も見られました。」

「えっ、クロツラが5羽!？」

「はい。」

「まさか!？」と思い全速力。そして確認。今年もクロツラがやってきた。

■ 2013.9/1 — 2013.9/30 { 漫湖で確認された野鳥 …………… 計 38 種 }

漫湖寄鳥見鳥

9/5



漫湖で確認された鳥類一覧

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. キジバト | 26. ミサゴ |
| 2. アマサギ | 27. ツミ |
| 3. アオサギ | 28. カワセミ |
| 4. ダイサギ | 29. シジュウカラ |
| 5. チュウサギ | 30. ツバメ |
| 6. コサギ | 31. リュウキュウツバメ |
| 7. オオバン | 32. シロガシラ |
| 8. ムナグロ | 33. ヒヨドリ |
| 9. ダイゼン | 34. メジロ |
| 10. コチドリ | 35. ムクドリ |
| 11. シロチドリ | 36. イソヒヨドリ |
| 12. メダイチドリ | 37. カワラバト※ |
| 13. オオメダイチドリ | 38. シマキンバラ※ |
| 14. セイタカシギ | 39. |
| 15. チュウシャクシギ | 40. |
| 16. アカアシシギ | 41. |
| 17. コアオアシシギ | 42. |
| 18. アオアシシギ | 43. |
| 19. キアシシギ | 44. |
| 20. ソリハシシギ | 45. |
| 21. イソシギ | 46. |
| 22. キョウジョシギ | 47. |
| 23. トウネン | 48. |
| 24. ヒバリシギ | 49. |
| 25. クロハラアジサシ | 50. ※は外来種 |

トウネンの観察記録。

トウネンの飛来情報が入ってから約一か月が過ぎた9月、ようやくこの目でもトウネンを確認できた。そのついでに、センターが開館して以来ここ10年のトウネンの観察記録を調べてみた。すると、8月と9月に飛来数が多くなっていることが分かった。飛来数が最も多かった年は、平成16年9月に観察された154羽で、その後年々数が減少し、平成20年以降は、平均して50羽程度の飛来数に留まっている。今年も9月10日に32羽が確認されている。どうやら、漫湖でトウネンを観察するなら、冬よりも8月と9月のほうが良いようである。

※この観察記録は、毎月実施されている鳥獣保護区の定点カウントの記録と、センターでの観察記録を基にまとめたものです。